第1節 取組みの体系

第３章で示した本市の「望ましい環境像」の実現に向けた取組みは、市・市民・事業者の協働の取組みとして、以下の体系に沿って進めていきます。

市民一人ひとりが ふるさとの環境をまもり・はぐくみ・つたえるまち

望ましい環境像 2050年の将来像

豊かな自然環境と共生した快適に暮らせるまち

○原生的な自然環境が適切に保護され、里地里山を主体とした自然環境が保全活用されています。
○森林・河川・農地・都市の緑・海などの環境が連続的に保全され、生物多様性も確保されています。
○歴史的、文化的資源や町並みが保全されるとともに、都市的町並みの景観も整っています。
○生活排水対策の充実や家庭での取組みの進展により健全な水環境が再生しています。
○大気環境や土壌環境などへの汚染物質の排出は適切に管理され、良好な環境が保たれています。

身近な取組みから地球環境保全に貢献するまち

○節電や緑化など省エネルギーの取組みにより、二酸化炭素排出量は大幅に削減されています。
○太陽光、太陽熱利用をはじめとする再生可能エネルギーの導入が進んでいます。
○脱炭素が実現し、省エネルギー・脱炭素社会へと転換しています。
○３Rを基本とした取組みによって家庭から出るごみの量は着実に減っています。
○地球環境の保全と温暖化防止に向け、環境先進都市として他の自治体をリードしています。

環境を守り・伝える心と活動を育むまち

○環境を守り育てる心が市民に浸透し、環境に対する意識の高い人々が暮らしています。
○本市の環境に関する情報が充実し、誰もが好きなときに環境に関する情報を発信・入手できるようになっています。
○大学等と連携した市民向け環境講座を通じて教育プログラムが提供され、幅広い層の市民が日常的に参加しています。

2022年から2031年に取り組むべき課題

課題の解決に向けたキーワード

森林保全、農地保全、海域保全
市街地の緑の保全・整備・創出
生物多様性
歴史・文化的資源、産業遺産
景観形成
大気質、水質、騒音、振動
河川保全、災害対策
新 光環境

課題の解決に向けたキーワード

拡 省エネルギー対策
拡 再生可能エネルギー
新 カーボンサイクル
新 ブルーカーボン
拡 気候変動適応策、循環型社会
新 マイクロプラスチック

課題の解決に向けたキーワード

環境学習、環境教育
新 GIGA スクール構想
新 Society5.0
新 オープンデータ

施策の方針

取組みの柱

1 豊かな自然環境の保全と活用
（1）人との関わりが深い自然環境の保全
（2）自然のふれあいの推進
（3）生物多様性の保全
2 緑あふれる美しい町並みの創出
（1）市街地の緑の保全と整備・創出
（2）歴史・文化的資源と歴史的町並みの保全・活用
3 水・水辺環境の保全・向上
（1）健全な水質と水循環の確保
（2）水辺環境の保全とふれあいの創出
4 良好な大気環境等の保全
（1）きれいな空気や静かな環境等の保全
新（2）光環境の保全

1 脱炭素社会の形成（気候変動対策）
拡（1）省エネルギーの推進
拡（2）再生可能エネルギーの導入促進
新（3）カーボンサイクルの推進
拡（4）気候変動を見据えた適応策の推進
2 資源循環型社会の形成
（1）廃棄物の排出抑制と資源循環的利用の促進
（2）不法投棄対策の促進
3 広域的・国際的取組みの展開
（1）地域を越えた連携と国際的な協力の推進

1 環境教育・環境学習の推進
（1）学校・家庭・地域などでの環境教育・環境学習の推進
2 環境情報の充実
（1）利用しやすい環境情報の整備と発信
3 市民・事業者等の環境保全活動の促進
（1）環境保全活動への参加促進と取組みの支援

SDGsの達成に向けた施策の推進

環境先進都市の実現に向けた重要な取組み

- カーボンニュートラルエリアの形成に向けた取組み
- スマートシティの形成に向けた取組み
- 技術連携プラットフォームの形成に向けた取組み
- 有機性廃棄物のエネルギー化に向けた取組み
- 木質バイオマスの利活用に向けた取組み
- 次世代エネルギーの普及促進に向けた取組み
- 自然共生の推進に向けた取組み

エリア別環境配慮指針

市街地エリア
里地里山エリア
里海エリア